



1. カブトムシ (コガネムシ科)
 ●大きさ：約35～80mm (♂)
 30～53mm (♀)
 7～8月にあられ、夜にクヌギなどの樹液に集まります。大きな角で、ほかの昆虫をどかして樹液を吸う、一番力の強い昆虫のひとつです。



2. カナブン (コガネムシ科)
 ●大きさ：約21～29mm
 6月ごろからあられ、昼に樹液に集まります。光沢のある体の色は茶色、緑、青など1匹ずつちがっています。



3. クロカナブン (コガネムシ科)
 ●大きさ：約22～28mm
 他のカナブンよりもおそく、8月ごろにあられ。まるでエナメルのように黒くかがやく美しい種類です。



4.シロテンハナムグリ (コガネムシ科)
 ●大きさ：約20～25mm
 5月ごろからあられ、樹液の他に花にもよく集まります。カナブンよりも光沢が強く、頭が丸いことで見分けられます。



5.ヨツボシケシクスイ (ケシクスイ科)
 ●大きさ：約7～14mm
 5月ごろからあられ、大きな虫が入ってこられないすきまで樹液を吸っています。左と右でちがう形のアゴをもち、他の虫とたたかうことがあります。



6.シロスジカミキリ (カミキリムシ科)
 ●大きさ：約45～52mm
 (触角は含まない)
 一番大きなカミキリムシのひとつです。強いアゴでコナラなどの生きた木に穴をあけて卵をうみつけます。そこから出る樹液には色々な昆虫が集まります。



7.キマダラミヤマカミキリ (カミキリムシ科)
 ●大きさ：約22～35mm
 (触角は含まない)
 6～8月にあられ、樹液にも花にもよく集まります。シロスジカミキリとはちがい、かれた木に卵をうみつけます。



8.ミヤマカミキリ (カミキリムシ科)
 ●大きさ：約34～57mm
 (触角は含まない)
 6～8月にあられ、クヌギなどの樹液に集まります。全体に細かい毛が生えていて、きれいな黄土色にみえる種類です。



9.ノコギリカミキリ (カミキリムシ科)
 ●大きさ：約23～48mm
 (触角は含まない)
 6～8月にあられ、クヌギなどの樹液に集まります。脚とはねをこすり合わせ、「ギィギィ」という音で鳥などをおどろかせて、身を守ります。



10.ヨツボシオオクスイ (オオクスイムシ科)
 ●大きさ：約9～13mm
 5月ごろからあられ。ケシクスイよりもさらに平たい体をしていて、とてもせまいすきまに入ることができます。

武蔵野の公園で見られる 樹液が好きな昆虫



11.ゴマダラチョウ (タテハチョウ科)
●大きさ：約60～70mm
(はねをひらいた大きさ)
白と黒のマダラ模様が美しいチョウです。大きなはねを広げて、他の昆虫をおどろかせます。カブトムシやスズメバチにむかっていくこともあります。



12.サトキマダラヒカゲ (タテハチョウ科)
●大きさ：約60～65mm
(はねをひらいた大きさ)
黄色と黒のマダラ模様が美しいチョウです。この目玉のような模様を使って、鳥などをおどらせて身を守ります。



13.ルリタテハ (タテハチョウ科)
●大きさ：約60～65mm
(はねをひらいた大きさ)
はねに青いスジが入る美しいチョウです。はねのウラは木の皮のような地味な色をしていて、鳥などの敵からかくれています。



14.ベニスズメ (スズメガ科)
●大きさ：約60～65mm
(はねをひらいた大きさ)
はねにピンクの美しいスジが入るガのなかまです。大きな昆虫とたたかわなくてすむよう、ヘリコプターのように空をとびながら樹液を吸います。



15.オオスズメバチ (スズメバチ科)
●大きさ：約30～40mm (働きバチ)
約40～50mm (女王バチ)
強力な毒針を持つ、一番大きなスズメバチです。強いアゴで樹液の出る穴を広げます。スズメバチのおかげで、よりたくさんの樹液が出るようになります。



16.ノコギリクワガタ (クワガタムシ科)
●大きさ：約36～75mm (♂)
約24～35mm (♀)
6～8月にあられ、クヌギなどの樹液に集まります。大きなアゴでほかの昆虫とたたかい、追いはらおうとします。



17.コクワガタ (クワガタムシ科)
●大きさ：約16～53mm (♂)
約20～33mm (♀)
5～8月と長い間あられです。他のクワガタよりも平たい体で木のすきまにもぐって樹液を吸います。長生きをするクワガタで、3年以上生きるものもいます。

ノコギリクワガタ アゴの形の秘密

小さくても生きていける！

2頭のノコギリクワガタの頭をならべてみました。まったくちがう種類のように見えますが、実はどちらもノコギリクワガタです。クワガタのアゴの大きさは、幼虫の時にとった栄養によって決まります。たくさん栄養がとれると大きく曲がったアゴを持つ成虫になり、少ないと細かいアゴの成虫になります。大きいとケンカが強く、他の昆虫を追いはらうことができます。小さいと、すきまに入ってケンカをせずに樹液を吸えます。生きものたちは生きのこるために、自分の体に合った作戦を持っているのです。